

件 名	阪堺線の利用者拡大に向けた取り組みについて
経過・現状 政策課題	<p><b>【経過・現状】</b></p> <p>○H22.6.30 堺市から「阪堺線（堺市内区間）の支援策（協議案）」を阪堺電気軌道（株）に提示 （協議案の主な内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者拡大策、施設の保守・保安等への支援（2億円/年）</li> <li>・高度化、老朽化対策への支援（30億円程度/10年）※国庫補助含む</li> </ul> <p>○H22.7.15 協議案に対し、阪堺電気軌道（株）から協議に応じる旨の回答</p> <p>○H22.7.15～8.15 阪堺線（堺市内区間）の支援策（協議案）」パブリックコメント実施</p> <p>○H22.7.17 阪堺線の存続を考えるワークショップ開催</p> <p>○H22.9.30 阪堺線に関する補正予算について議決 （補正予算の内訳）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者拡大策への支援に要する経費 1,500万円</li> <li>・施設の保守・保安などの支援に要する経費 6,000万円</li> </ul> <p>○H22.10.20 阪堺電気軌道（株）と阪堺線（堺市内区間）存続に係る基本合意を締結 （基本合意書の要旨）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・堺市の総合交通体系の一環として、沿線を含む市域全体の活性化等を目的に支援を実施</li> <li>・堺市と阪堺電気軌道（株）は、市民と連携を図り、阪堺線（堺市内区間）の継続的運行に努める</li> <li>・堺市は、阪堺線（堺市内区間）の存続が図れるよう支援を実施</li> <li>・阪堺電気軌道（株）は、利用者拡大等さらなる経営努力を実施</li> <li>・阪堺線の公有民営化については、総合都市交通計画に係る検討状況等を踏まえ、協議を実施</li> </ul> <p><b>【政策課題】</b></p> <p>○利用者拡大策に関して、国や南海バス等の関係機関との協議、調整を行い、早急にその具体化を図る。</p>
対応方針 今後の取組 （案）	<p>1. 利用者拡大策の実施について</p> <p>○堺市内・大阪市内区間の運賃均一化</p> <p>開始時期：平成23年1月15日（土）から</p> <p>実施内容：堺市内から大阪市内への2区間運賃（大人290円・小児150円）を、1区間運賃（大人200円・小児100円）に均一化する。</p>

	<p>○高齢者運賃割引</p> <p>開始時期：平成23年1月15日（土）から</p> <p>実施内容：65歳以上の市民で、市発行の「おでかけ応援カード」をお持ちの方が、阪堺線を毎月5・10・15・20・25・30日に、100円で利用できる。</p> <p>2. 利用者拡大策開始に合わせたイベントの開催</p> <p>イベント名：開運ふくふく展</p> <p>開始時期：1月7日（金）から</p> <p>内 容：「開運ふくふく展」として、阪堺電車の車内に福助人形を展示した「福助電車」を3両走行。</p> <p>また、綾ノ町停留場に近い、重要文化財山口家住宅でも、1月7日（金）～17日（月）（11日は休館）に、福助人形を展示。</p> <p>※1月7日（金）12時30分より神明町停留場において、出発式を行う予定。</p> <p>【今後の取組】</p> <p>○平成23年3月（予定）</p> <p>*ゾーンチケットの導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・堺線周辺、都心や堺浜などの一定の地域において、共通切符により阪堺線（堺市内区間）と南海バスを一日乗り放題となるゾーンチケットを導入。</li> <li>・沿線商店等との連携により、チケット提示による商品割引等の特典を付与。</li> <li>・ゾーン内及びその付近にある市の施設において、来場者へ周知。</li> </ul> <p>*効果検証のための交通調査を実施</p>
効果の想定	<p>○阪堺線の利用者拡大（通年21.5万人）及び阪堺線沿線の活性化</p> <p>○公共交通を活かしたまちづくりの推進</p>
関係局との政策連携	<p>阪堺線活性化や公共交通を活かしたまちづくりに関係する部局（市民人権局、健康福祉局、環境局、産業振興局、建設局、財政局、市長公室など）</p>